



1月31日(水)「第4回学校運営協議会(CS・コミュニティスクール)」が開催されました。

令和6年3月吉日
新潟市立笹口小学校
CS事務員

コミュニティスクール(CS)とは？

現在、学校だけが子どもたちを教育するのではなく、地域と共に子どもたちを育てることが大切であると言われていています。そのために

- ① 学校経営方針を学校運営協議会委員(CS委員)の方にご承認いただき、それを地域に広めていただく。
- ② CS委員の皆様から学校により良い助言をしていただく。
- ③ 学校を拠点として地域同士が繋がり、学校と地域とがWIN&WINの関係を築き、共に活性化を図る。

ことを目的とし、「どんな子どもに育てていきたいか、そのためにどんな教育や教職員が必要なのか」を学校と地域と一緒に考えています。

今回の会議は・・・

《1》全クラスの授業参観

各階ごとに授業の説明を受け、その後は自由に参観していただきました。子どもたちの中に先生が溶け込んでいる授業風景がとても印象的でした。



《2》学校の取り組み説明

<学校評価についての報告>

◎子どもが「可能性を伸ばす力」「挑戦する力」を発揮するための取組と評価

児童アンケートでは、どの項目も80%以上の評価になり、全国学力、学習状況調査の結果では「思考、判断、表現」の伸びが見られました。日々の授業で積み重ねた結果が表れていると捉えています。

◎子どもが「尊重し合う力」を発揮するための取り組みと評価

全校で「クラス会議」を実施することで、お互いの良さや個性の理解に繋がっている。「一人一人の名前を大切にすること」では、子どもたちのアイディアから縦割り班でもっと仲良くなるためのクイズが行われ、児童同士のつながりが深まりました。

◎学校・保護者・地域みんなで「子どもの良さを見付け伸ばし育てる」ための取組と評価

様々な活動において保護者・地域ボランティアの方々からご協力いただき、子どもたちは地域の「人」と「こと」と関わった学習をすることに喜びを感じています。人とのかわりの質の向上を目指して、来年度は可能な限り子どもたちの振り返りの場に大人の方にも入っていただき、子どもたちの頑張りをフィードバックしていただきたいと思います。

《来年度に向けて（教育ビジョン等）》

「個性輝くみんなが誇りに思える学校」を目指します。

そのためには・・・

- 多様性を尊重する
- 愛校心、郷土愛を育てる
- 自己肯定感、共感性、レジリエンス（くじけない力）を高める
- 子どもたち主体の教育活動を推進する
- 当たり前からの脱却、固定概念からの転換を図る
- 保護者、地域、みんなで子どもたちを育てる



《3》意見交換

学校評価アンケート

ほっとハウス笹口

ナイトスクールや笹口祭等、やっど子どもたちと触れ合える機会が増え、スタッフ一同喜んでいる。来年度も多くのことでかかわりたい。

低学年と高学年のアンケート内容は違うのか。低学年には難しい質問もあると思うが。→内容は市教委提示のものを活用。低学年には担任が分かりやすく説明している。

光のページェント

今年の6年生は発想力、挑戦力があるなと思った。地域の方から子どもたちへのフィードバックの必要性を感じる。6年生の頑張りを褒めてあげ、是非5年生に引き継ぎをしていただきたい。

GIGA スクール

1年生はタブレットの使い方に戸惑っていた春から、各々が自分なりの使い方を見つけて学習していた。高学年では何か分からない事があると自分で調べて解決している。成長を感じた。

個性

貼られている絵や習字に個性が表れていてとても良かった。先生方が子どもたちの個性を大事にされているのがよく分かる。

学校の様子

1年を通して季節を感じる飾りや、新潟の伝統に触れることができる。子どもたちにとって記憶に残る素晴らしいことだと思う。

《4》ご退任の挨拶

今年度で学校運営協議会委員を退任される2名の方から、ご退任の挨拶がありました。委員としてのお務めありがとうございました。